

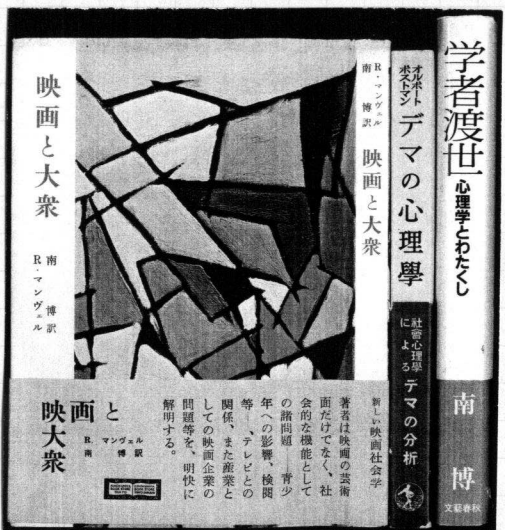
南博 ひらぬ 社會心理學者、文學博士。大正三年七月二十三日東京生れ  
(一九〇一)。東京帝國大學醫學部を経て、昭和十五年京都帝大文學部  
哲学科卒。次いでアメリカに留學し、二十一年歸國。翌年日本女子大學  
教授、のち一橋大學・成城大學教授歴任。この間傳統藝術の會を組織  
し、鶴見俊輔等と思想の科學研究會を興す。日本心理センター所長、  
日本映像學會會長。

譯書に、G・W・オルポト他著『ドラマの心理學』(昭和二十七年十  
月十五日岩波書店「岩波現代叢書」)、ヤルフレッド・C・キンゼイ  
他著『人間女性における性行動・上巻』(他二名共訳、昭和二十九年十  
一月一日コスモポリタン社)、R・マンヴェル著『映画と大衆』(昭  
和二十一年七月五日純洋國屋書店)、ホグベン著『コミュニケーション  
の歴史』(他二名共訳、昭和二十二年九月二十日岩波書店「岩波現  
代叢書」)、キャントリル著『社会運動の心理學』(他二名共訳、昭  
和二十四年八月二十一日岩波書店「岩波現代叢書」)、チャールス・  
オズグッド著『戦争と平和の心理學』(田中靖政共訳、昭和四十二年  
一月二十日岩波書店)、ホグベン著『洞窟絵画から連載漫画へー人間  
コミュニケーションの万華鏡』(他二名共訳、昭和五十四年十一月十  
七日岩波書店「岩波文庫」)、ロスノウ・ファイン著『うわさの心理  
學ー流言のメカニズム』(昭和五十七年十一月二十四日岩波書店  
「岩波現代叢書」)、D・E・スタナード著『歴史を精神分析するー  
フロイトの心理歴史學の失敗』(昭和六十二年二月  
二十七日岩波書店)等。



著書『學問と政治』(合著、昭和二十一年十月五日

- 東大協同組合出版部編刊）、『社會思想史十講』（合著・社會思想研  
究會編、昭和二十二年五月一日社會思想研究會出版部）、『批判現代  
知識階級論』（合著、昭和二十二年九月十日批判社）、『アメリカの  
思想と生活』（昭和二十四年八月十五日眞善美社）、『大學と生活第一  
』（合著・辰野隆編、昭和二十五年一月十五日光文社）、『夢とおと  
びー大衆娯樂の研究』（合著・思想の科學研究會編、昭和二十五年七  
月二十日中央公論社）、「ひとびとの哲學叢書」（、『戰後派』の研究」  
（合著・思想の科學研究會編、昭和二十六年八月二十日養徳社）、『人  
間の方向』（昭和二十七年五月二十日東和社）、『デューイ研究ーヤ  
メリカ的考へ方の批判』（合著・鶴見和子編、昭和二十七年七月五日  
春秋社）、『日本人の心理』（昭和二十八年十一月二十日岩波書店  
「岩波新書」）、『日本人の娯樂』（昭和二十九年五月二十日河出書  
房「河出新書」）、『ラジオ・テレビ』（合著・毎日新聞社編、昭和  
二十九年八月五日毎日新聞社「毎日ライブラリー」）、『社會と藝術』  
（合著・現代藝術研究所編、昭和二十九年十二月十五日河出書房「現代  
藝術講座」）、『現代アメリカの思想』（合著・都留重人編、昭和三十  
一年二月二十日河出書房「河出  
新書」）、『現代人の眼ー伝統美術  
の批判』（合著、昭和三十一年十一  
月二十日現代社）、『不安の芽ー十  
代の求めゝもの』（昭和三十一年十  
二月二十日平凡出版株式会社）、  
『社會心理学入門』（昭和三十一年



二月十九日岩波書店「岩波新書」( )、 『日本の芸術伝統と近代』(編)  
昭和二十二年六月(二十五日)東洋経済新報社( )、 『日本のあけぼの』建  
国と紀元さゆり( )『(公書・ニ管宗に編、昭和二十四年(一月五日  
光文社)「カッパ・ブックス」( )、 『行動理論史』(昭和五十一年四月  
(二十日)岩波書店「岩波全書」( )、 『人間行動学』(昭和五十五年(一  
月十八日)岩波書店( )、 『日本釣釣』(昭和五十八年九月(二十日)岩波  
書店「岩波新書」( )、 『学者渡世』(心理学とわたくし)』(昭和六十年  
四月十五日)藝春秋)等。